

男の隠れ家

2024年7月吉日

24年11月号(9月27日発売)

大人もエモい!昭和レトロ旅

【第一特集】昭和レトロを探して、古き良きエモーショナルなニッポンをもう一度

昭和は過ぎ去り、平成令和と時代は変わりゆく。最近では当時を懐かしむ人々のために、昭和の横丁や駄菓子屋をイメージした店舗なども見られるようになった。若者の間では、作り物ではない本物の昭和「ガチレトロ」を探す旅なども熱くなっているようだ。彼らは昔の携帯の写真を見て、「エモい」と感じるそうだが、キレイなモノだけが求められる時代ではないということだ。今回はそんな昭和を感じられる全国の旅を提案しながら、何がそこまで人の心に訴えかけるのか、レトロの魅力とは何か、を、総力特集します。

【第二特集】昭和のテーマパーク

昭和をイメージしたエンターテインメントパークが人気だ。もちろん若者だけではなく、中高年以上の男女も昔を懐かしむことができる。そこはまるで映画「Allways3丁目の夕日」の世界。

古くて新しい、エンターテインメントの形を体感しよう。

(お台場1丁目商店街、浅草花やしき、西武園ゆうえんち、ナンジャタウン、新横浜ラーメン博物館、ハイカラ横丁、菓子屋横丁、門司港レトロ、和倉昭和博物館とおもちゃ館、渋谷のんべい横丁 など。)

【大コラム】昭和のあそび大会

春夏秋冬、まだゲームがなかった時代。子供たちはみんなで集まって、工夫をこらして日が暮れるまで遊び尽くした。創意工夫、アイデアで遊びの可能性は無限大に広がった。

(風揚げ、駒回し、ベーゴマ、チャンバラごっこ、影おくり、缶馬、かくれんぼ、ザリガニとり、竹トンボ、メンコ、ビー玉 など。)

【コラム】

カメラマンに教わるエモい写真の撮り方、東西の純喫茶、広告で振り返る昭和モダンアートの世界 など。

※特集内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



WEBと本誌掲載セットのお取り組みも可能です。
タイアップご希望の場合には、特別料金のご案内もございます。
詳細は営業担当までお問い合わせください。

【お問合せ】株式会社三栄 第二営業企画局 Mail : koukoku@san-ei-corp.co.jp

~この企画に関するより詳しい内容・不明点は各担当者にご連絡下さい。~